

稲作管理特報

令和7年4月14日
朝日町
黒東地域農業技術者協議会

育苗期間中は、天候の変化が激しい時期です。近年の育苗期間は気温が高い傾向があるので、ハウス内が高温にならないよう早めの換気と的確な水管理を行い、活力の高い苗に仕上げましょう。

1 育苗管理 ～早めの換気で、ハウス温度を上げない～

- 適正な育苗日数で活力の高い苗に仕上げましょう。
- 5月15日植えの育苗日数（播種日～田植日）は19日です。
- 密苗は老化苗にならないよう計画的な作業を心がけましょう。



	浸種日	催芽日	播種日	搬出日	田植日	育苗日数
一般苗	4/17	4/24	4/26	4/29	5/15	19日
密苗	4/21	4/27	4/29	5/2	5/15	16日

- 浸種袋の色分けやラベル付けで、品種の区分管理を徹底しましょう。
- 浸種期間は十分確保しましょう（目安：7～10日程度）。
- 浸種時の水温は10～15℃を保ちましょう。
- 浸種から3日程度は、水の交換をしないでください。その後は2日に1回程度水を交換しましょう。

- 催芽及び出芽時に「育苗器」を使用する場合、温度は30℃を厳守しましょう。事前にサーモスタットや温度計を確認しましょう。
- 播種量は、1箱当たり乾籾で120g（催芽籾150g）程度としましょう。

- ハウスの搬出直後は、土が落ち着くまでしっかり水をかけましょう。
- 被覆資材は緑化後に速やかに外しましょう（搬出2～3日後が目安）。

- 育苗ハウス内の温度は下表を参考に、搬出直後から換気に注意し、ハウス内が30℃を超えないようにしよう。
- 夜温が10℃以下と予想される場合はハウスを早めに閉めましょう。

苗のステージ	出芽期	緑化期	硬化期
育苗日数	3日	2～3日	13～15日
温度	昼	25℃以下	
	夜	10℃以上	

日差しが差し込むと、急激にハウス内温度が上昇するため、早めに換気を行いましょう！

2 苗箱施薬剤の散布 ～除草剤と間違えないよう、散布前に確認する～

- 一般栽培の品種（「コシヒカリ」、「てんたかく」、「てんこもり」、「新大正糯」など）には「ヨーバルプライムEV箱粒剤」を使用しましょう。
- 「富富富」の苗箱施薬剤は一般品種用と異なるので、「富富富」特報を参考にしてください。
- 水稻育苗後に育苗ハウスで野菜を栽培する場合、は種時（覆土前）の処理やハウス内での散布は行わないでください。

苗箱施薬剤	栽培法	使用方法
ヨーバルプライムEV箱粒剤	一般苗	・は種時（覆土前）～田植当日 1箱当たり 50g 散布
	密苗	・は種時（覆土前）～田植当日 1箱当たり 50～100g 散布 ※10a当たりの施用量が1kgとなるようにしましょう。

みな穂の米づくりのスタートは、「健苗育成」から！

3 耕起・代かき ～均平に努め、除草剤の効果を高める～

- （耕起）
 - 耕起作業は、ほ場が乾いた状態でゆっくり起こし、作土深を15cm以上確保しましょう。
 - 作業速度を落とすとともに、ロータリの回転も低速（PTO1速）にして、ていねいに作業を行いましょう。

- （代かき）
 - 代かきは浅水で稲わらをしっかりとすき込むとともに、ほ場の均平に努めましょう。浅水で行うことで、一発肥料の被覆殻の流出防止にもつながります。
 - 代かきは田植えの2～4日前に行ってください。
 - 代かき後の濁り水は、ほ場外に流さないでください。また畦畔沿いに吹き寄せられたワラなどの浮遊物は除去しましょう。

トラクタ作業後、道路に落とした泥の塊は早急に片付けましょう！

4 てんたかくの肥料 ～早生用の肥料が変わります～

- JAみな穂のてんたかく用基肥一発肥料は本年度から、より環境への影響が少ない「エコ早生専用」（N-P-K 24-6-16）に変わります。
- 従来の「Jコート早生専用」と窒素含有量は同じですので、これまでの施肥基準にてご使用ください。

【参考施肥量】 エコ早生専用 10a 当たり38～42kg



5 農作業安全 ～農作業事故ゼロをめざして！～

- 春はトラクタでの作業が多くなる時期です。農作業における死亡事故の多くは、トラクタの転倒です。余裕を持った作業計画で、安全確認を怠らず、作業や移動走行は慎重に行いましょう。安全フレーム付きのトラクタを使用し、シートベルトとヘルメットを必ず着用しましょう。
- ロータリ等の作業機を装着したトラクタが公道走行するには、法令上のルールがあります。詳しくは農林水産省や日本農業機械工業会のHPでご確認ください。



農林水産省HP



日本農業機械工業会HP

春の農作業安全運動（令和7年3月1日～5月31日）

★JAみな穂では、メールやラインで営農情報を配信しています。以下のQRコードを読み込み、案内に沿って手続きして下さい。

【配信される主な内容】

- 営農メール：水稻栽培情報、気象・災害情報
- ライン：稲作管理特報などの各種特報



営農メール



ライン

JAみな穂営農センター Tel 74-2440 あさひ支店経済課 TEL 83-3212
新川農林振興センター 農業普及課 Tel 52-0094